

## 指針策定の目的及び検討の進め方について

### 1 背景・目的

#### ■背景

現在、277路線におよそ19,000本の高木が植栽されていますが、そのうち約3割5,300本あまりが植栽から30年以上経過し、大木化、老朽化、生育環境の悪化により様々な問題が発生しています。これらの街路樹については、従来の剪定を中心とした管理では根本的な問題解消にはならず、成長とともに問題が深刻化します。

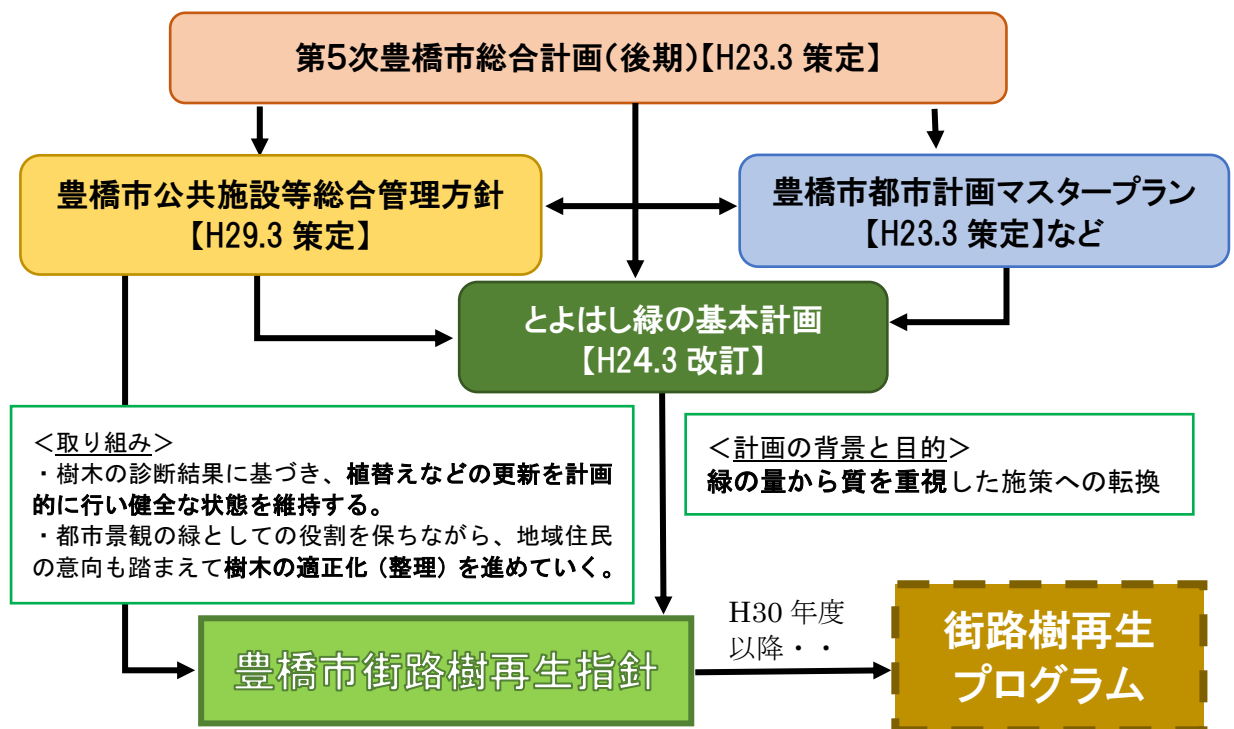
#### ■目的

現在の街路樹を取り巻く状況を踏まえて、これからの街路樹のあり方を見つめ直し、街路樹が持つさまざまな機能や役割を十分に発揮し、安全で市民の満足できる街路樹の再生に向けての方針・方策の検討を行うものです。

### 2 指針の位置づけ

- とよはし緑の基本計画と整合を図り、指針策定を行う。
- 豊橋市公共施設等総合管理方針と整合を図り指針策定を行う。

#### ▼豊橋市街路樹再生指針の位置づけ



### 3 検討スケジュール

時期	検討事項	検討委員会・部会
5月12日	<ul style="list-style-type: none"><li>・街路樹の現状、課題について</li><li>・再生指針の方向性の説明</li></ul>	第1回検討委員会
6月	<ul style="list-style-type: none"><li>・課題整理、意見交換</li><li>・基本的な考え方及び方針</li><li>・市民アンケートについて</li></ul>	第2回検討委員会
8月	<ul style="list-style-type: none"><li>・サマーレビュー結果報告</li><li>・市民アンケート結果報告</li><li>・意見交換</li></ul>	第3回検討委員会
10月	まとめ	第4回検討委員会
11月	まとめ②	第5回検討委員会
2月	<ul style="list-style-type: none"><li>・パブリックコメント報告</li><li>・意見交換</li></ul>	第6回検討委員会